

**復興支援住宅エコポイント事業/住宅エコポイント事業  
環境寄附対象団体 事業報告書**

事業者コード	k024	報告日	2013/3/31		
団体名	(社)大阪南太平洋協会	報告者 (役職・氏名)	事務局長 濱崎 三枝子		
連絡先 (電話/メール)	06-6376-1151/info@aspa-osaka.com	活動ホームページ (URL)	http://www.aspa-osaka.com		
対象分野	<input checked="" type="radio"/> a. 地球温暖化防止 <input type="radio"/> b. リサイクル・廃棄物対策 <input type="radio"/> c. 自然保護・生物多様性保全 <input type="radio"/> d. 森林の保全・緑化 <input type="radio"/> e. 大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策 <input type="radio"/> f. 環境教育・人材育成 <input type="radio"/> g. グリーン購入 <input type="radio"/> h. 助成・トラストを行う団体 <input type="radio"/> j. カーボン・オフセットなどの事業・プロジェクト (登録されている対象分野を選択してください)				
事業・プロジェクト名	小規模クリーンエネルギー供給装置援助及びエコ住宅建設指導事業				
環境寄附対象期間	平成23年5月振込分                      から                      平成24年4月振込分                      まで				
寄附額	■ポイント取得者からの環境寄附:		¥34,155		
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(個別指定を受けた寄附):				
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(全団体に均等配分された寄附):		¥56,602		
	合計:		¥90,757		
当初想定 の環境寄附 の 使い途	寄附金額	寄附額1 (円以上) 100	寄附額2 (円以下) ~ 2,000,000	寄附額1から2の 使い途	装置導入に向けての調査研究費として、援助依頼のある地域で供給調査を行います。
		寄附額3 (円以上) 1,000,000	寄附額4 (円以下) ~ 2,000,000	寄附額3から4の 使い途	専門家及び技師の現地派遣費用及び両国の若者育成費です。
		寄附額5 (円以上) 6,000,000		寄附額5の 使い途	水力・太陽光パネル・風力発電装置1基及び設置費用とエコ住宅建設に伴う資材及び備品・道具購入費です。
実際の 環境寄附の 使い途  (使用対象 及び成果等)	環境寄附をどのような活動内容に充てたのか、400字程度にまとめてご記入ください。 また、環境寄附の使用対象を明確にし、できる限りその使用対象への成果を明示してください。  ※カタログ等で公開されている当初想定「環境寄附の使い途」に沿った活動に関する報告をお願いします。 ※別紙「記入例」を参考の上(概要)、(使途)、(効果)を記入ください。 ※寄附額毎に異なる使い途を設定されている場合は、それぞれの活動内容をご記入ください。 ※寄附金の使用内訳を明確に記入いただき、次年度繰越金などある場合は必ずご記入ください。  (概要)1997年、パプアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、活動拠点のソフム村(約300人)にボランティア行動隊を派遣し、クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材を使った自作住宅建築の指導を行っています。(使途)この度のご寄附、90,757円は若者育成事業として2012年9月15日に派遣した第11次PNGソフム村支援行動隊(専門家及び技師等計7名、女子高生1名)の自作住宅建設指導に要する資材費用の一部及び日本女子学生渡航費の一部に充当させていただき、前年に続き住宅設計図(立面・断面)指導を行いました。(成果)昨年に引き続き青年8名と新たに2名計10名が製図を完成させた。次年度はその製図を基に「ドリームハウス」建築に着手予定です。また若者達はみんな英語が話せるので、簡単な日本語習得により日本の技師との意思疎通が密になりました。				